

自然の贈り物～野草から薬ができるまで～

自然科学、漢方医学、薬学

国立大学法人

千葉大学 環境健康フィールド科学センター

会期：2011年8月18日（木）13：30～8月20日（土）14：30 2泊3日

科学のめざましい進歩によって、私たちの病気を治してくれる医薬品が開発されています。医薬品の歴史をたどると、その起源はこの地球の自然界の贈り物、特に植物にあります。千葉大学の環境健康フィールド科学センターでは、東洋医学を基盤に健康と自然の融合した新しい領域を創りながら研究を進めています。

このプログラムでは、私たちの身の回りの薬草や野菜の機能性に関する講義、フィールドの植物の探索および採集を行い、さらに植物から有用成分の簡単な抽出実験と確認試験を行います。また、漢方医・薬剤師による漢方薬の実践講義や柏の葉診療所の見学も行い、漢方薬の煎じ薬や塗り薬を作製し、試飲体験を行います。

この体験を通して、日本の医療、自然と共生し健康に生きること、植物の多機能性とその応用について総合的に学ぶことができます。



会場

国立大学法人 千葉大学
環境健康フィールド科学センター
千葉県柏市柏の葉6-2-1
(つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス駅」下車、徒歩5分)
URL：http://www.h.chiba-u.jp/center/
宿泊場所：ホテルデルプラド（予定）

募集人数

16名

キャンプのプログラム内容（予定）

五感で感じる植物の不思議発見がメインテーマです。キャンプの期間中、いつも「これは何だろう?」、「どうして?」、「本当かな?」などといった、不思議を探す心構えを忘れないようにしましょう。

- (1) 柏の葉キャンパス内を探索し、水田、野菜や果樹の畑、薬草園にある野菜、果実、薬草などを採集、観察します。さらに、実物に触れたり、かいだり、味わったりして、植物の魅力を実感します。
- (2) フィールド科学センターでの研究体験として、薬草から薬となる成分を抽出して確認する実験を行います。また、野菜に含まれる栄養成分を抽出して測定します。さらに最先端分析技術として、高速液体クロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー・マススペクトロメーターなどで、薬用成分や香り成分の分析を体験します。
- (3) 職業体験として、薬剤師の指導のもと、漢方の煎じ薬や塗り薬を作製し、実際の生薬に触れ、実際の現場で薬剤師が行っている調剤を体験します。また作製した煎じ薬を試飲します。
- (4) 柏の葉診療所内の見学と漢方医の実践講義を通して、実際に日本で行われている漢方の医療現場の世界を覗きます。
- (5) 身近な薬草や薬の歴史、野菜の機能性や関連する研究などについて、講義を通じて学びます。

- (6) 一連の講義と実体験を通じ、自然の贈り物である植物の多機能性とその応用について、薬学と農学という両方の観点から総合的に学習します。

スケジュール（予定）

1日目 8月18日（木）

- 13:30～14:00 集合受付
- 14:00～14:20 開講式・オリエンテーション
- 14:30～16:00 薬草についての講義
- 16:10～17:40 野菜についての講義

2日目 8月19日（金）

- 8:50～11:30 キャンパス内で薬草や野菜等の観察・採集・体験・標本作製
- 11:30～12:30 昼食
- 12:30～16:30 薬草から薬用成分の抽出・確認実験、先端分析技術体験
- 16:30～18:00 漢方医学と漢方薬の入門講義
- 18:00～19:30 講師等との交流会

3日目 8月20日（土）

- 8:50～11:20 漢方薬の煎じ薬や塗り薬の作製と試飲体験
- 11:20～12:00 柏の葉診療所と薬局の見学
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 総合討論・発表会
- 14:00～14:30 閉講式・解散

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

千葉大学環境健康フィールド科学センターのホームページ (<http://www.h.chiba-u.ac.jp/center>) から会場の所在地や関連学部の研究室にアクセスできます。